

LB 会報



2022 年 12 月 No.26 一般社団法人東大 LB 会機関紙

編集者：井田淳、和田康太郎 協力（現役）古川泰士、加藤彩花

2022 シーズン、東都 2 部で 2 位、1 部復帰を果たす！

ア式男子は、13 勝 3 敗 4 分けて 2 位となり、1 年で 1 部復帰を果たした。



10/2(日) リーグ戦第 21 節対成城大学戦 4 年出射(No.10)のミドルシュートが決まり、昇格を大きく手繰り寄せる
ゲーム押しの 3 点目を獲得

来季は関東復帰へのチャンス！

2023 年度より関東 3 部リーグが新設される。1 部、2 部、3 部とも 12 チームで構成される。新 3 部は、2022 年度の 2 部から自動降格する 2 チームと、2 部参入 PO 敗者 2 チームと、現在行われている関東大学サッカー大会で残り 8 チームが決まる。関東大学サッカー大会には、地域リーグの上位チームが参加しており、東京都リーグからは 2022 年度の 1 部上位 4 チームと PO に勝った 2 チーム、計 6 チームが参加している。

2023 年シーズン、ア式としては東都 1 部の上位に入り、関東 3 部昇格への足掛かりをつかみたい。

◆◆現役の活動報告◆◆

1. 男子部 2022 年戦績と活動

2022 年度東京都大学サッカーリーグ 2 部最終順位表

FPP はフェアプレーポイント

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失点	得点	FPP
1	大東文化大学	57	20	19	0	1	45	56	14
2	東京大学	43	20	13	4	3	29	43	17
3	成城大学	37	20	12	1	7	22	60	14
4	東京理科大学	34	20	11	1	8	0	29	18
5	武蔵大学	33	20	10	3	7	21	42	12
6	日本大学文理 学部	33	20	11	0	9	-6	32	19
7	東京都立大学	32	20	9	5	6	18	44	8
8	一橋大学	30	20	9	3	8	8	34	12
9	国際基督教大 学	11	20	3	2	15	-47	16	24
10	東京工業大学	8	20	2	2	16	-35	18	9
11	都留文科大学	1	20	0	1	19	-55	15	14

2. 男子部監督 2022 シーズン振り返り

男子部監督 林陵平



日頃よりL B会の皆様に心強いご支援を賜りまして、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

先日、東京都大学サッカー2部リーグの全日程を無事に終えることが出来ました。結果として13勝4分3敗で総得点43総失点29。勝ち点43の獲得となり、2位での来季1部復帰が決まりました。後半戦の始まりは都立大学と引き分け、国際基督教大学には勝利したものの一橋大学との東商戦には0対1で破れ、1勝1敗1分けの決していいスタートとは言えない状況でした。特にOBの方々が多く応援にきて頂いた伝統ある東商

戦で、終始イニシアティブを握られたまま敗戦を喫し、精神的に苦しい状況から立て直す必要に迫られるなど、後半戦は昇格争いもあり非常にタフな状況が多かったように思われます。

その後約1ヶ月間リーグ戦の間隔が空きましたが、関係者の方々、学生やスタッフの開催に向けての準備のおかげで3年ぶりの開催であり、私自身にとっては初めてである京都大学との双青戦を京都にて戦う事が出来ました。プライドをかけた戦いが多く繰り広げられ、また競技を行う場所、演出なども素晴らしいものがあり、非常に記憶に残る双青戦となりました。

リーグ戦再開の第17節日大文理戦は消化の試合数もありますが、負ければ日大文理が昇格争いに食い込んでくる勝ち点にな

ってくるといった難しい相手でした。早い時間に先制されるも、その後のフォーメーションの修正などをピッチの選手たちがしっかりと理解し遂行してくれたおかげで 3 対 1 と逆転勝ちすることが出来ました。そして次の都留文科大学に勝利し、東京理科大学に分けて、また昇格を争う成城大学との一戦に臨みました。序盤は押し込まれるも徐々に押し返し、続けてきたフィジカルトレーニングの効果も随所に見えてプレー強度、切り替えの部分など試合全体で相手を上回り 5 対 0 と勝利しました。この結果 3 試合を残して 2 位以上での昇格を決める事が出来ました。

その後武蔵大学と引き分け、東京工業大学に勝利、そして今季の締めくくりと来季への試金石となる 1 位である大東文化大学との試合になりました。結果からいえばハンドによる PK で 1 点を献上し 0 対 1。東京都 1 部で戦う上での課題があぶりだされる敗戦となりました。しかし、負けて悔しい思いはありましたが、「戦術の共有による攻守 4 局面での表現」「走る・戦う・球際の粘り」などチームとして 1 年間積み上げてきたものを選手達は 90 分出しきって精一杯戦ってくれたと監督として感じました。

来季は東京都 1 部での戦いに移ります。大東文化大学より強いチームが大半となる中で、昇格・残留どちらも非常に厳しい戦いが待っていると思われます。勝利を掴むには、今期失点数が少なかった要因であるしっかりと守備からの攻撃。その攻撃の際もチャンスがもう一段少なくなる中で、ファイナルサードでの精度をチームとして今以上に上げていく必要があると思っています。そしてスタメンであった 4 年生が多く抜ける中で、各自一人一人の更なる成長が来季の 1 部を戦う上での鍵になると思っています。

最後になりますが、この 1 年間きつい時も苦しい時もついてきてくれて共に戦ったア式の選手達、チームを支えてくれた全てのスタッフやマネージャー達にこの場を借りて心から感謝の意を表します。本当にありがとう。また、重ね重ねではありますが、いつも LB 会の皆様にはご支援をいただき誠にありがとうございます。引き続きお力添えの程よろしくお願い致します。

3. 男子部主将 2022 シーズン振り返り

男子部主将 松波亮佑（4 年）

昨年 1 部で実力差を痛感した経験から、2 部リーグ優勝、そして 1 部で戦える実力をつけるということを目指し活動をスタートさせた今季は、13 勝 4 分 3 敗の 2 位ということで、優勝は叶いませんでしたが、堅実に勝ち点を積み上げ昇格を勝ち取ることが出来ました。

今季このような結果を掴めた要因としては、今季が林陵平監督体制の二期目であり、また昨年からのトップチームで活躍したメンバーも多く残っており、チームとしての成熟度が比較的高い状態で開幕を迎えられた点が大きかったと認識しています。

そのようなアドバンテージを活かし、相次ぐ怪我やコロナなどのマイナス要因にも左右されず、序盤から終盤まで着実に勝ち点を重ねることができたシーズンとなりました。

ただ、昇格は喜ばしく素晴らしい結果である一方で、来季 1 部で戦うことを踏まえると、1 位の大東文化大学に大きく勝ち点差を付けられたことは忘れてはいけません。これは目標として掲げた 1 部で戦える実力には届いていないことを意味しています。

したがって来季開幕まで、そして開幕してからも、今期以上のスピードで成長していかなければなりません。

最後に、今季も LB 会の皆さまには多大なご支援を頂き、大変感謝しております。自分は引退しコーチの立場となりますが、選手と共に全力を尽くして参りますので、今後とも変わらぬご支援ご声援のほどよろしくお願い致します。



4. 2023 シーズンに向けて

2023 年男子部新主将 八代快 (3 年)



2022 年度シーズンは東京都 2 部で 2 位となり、1 部昇格という最低限の目標は達成することができましたが、2 部の舞台で圧倒的な強さを見せられていたわけではなく、特に首位の大東文化大には勝ち点差 14 をつけられるなど、悔しさの残るシーズンでもありました。また、長年主力として戦い続けてきた 4 年生が引退したこともあり、現段階での新チームは未熟と言わざるをえません。このチームで来期の 1 部に通用するのかわという不安はあります。ですが発展途上のチームだからこそ、そのポテンシャルは無限大です。自分達はチャレンジャーであるということを実感し、日々の練習に全力で取り組んで一步一步積み上げていけば、長年の悲願である「関東昇格」を達成しうるチームだと私は思っております。「関東昇格」を目標に掲げ、厳しい 1 部の舞台をチーム一丸となって戦い抜いて参りますので、変わらぬご支援ご声援のほどよろしくお願いいたします。

5. 男子部オフザピッチ活動

男子部主務 古川泰士 (3 年)

(1) 御殿下サッカースクール

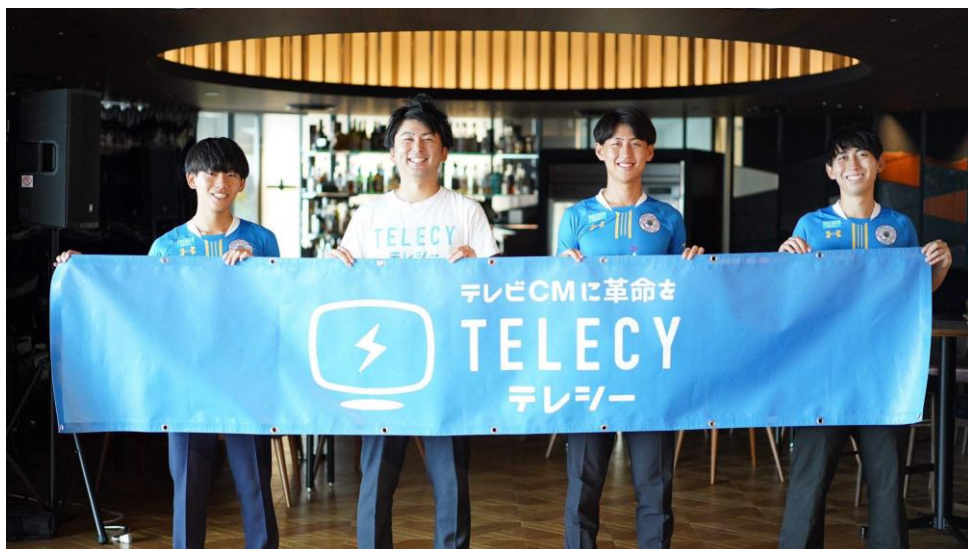


今シーズンも新型コロナウイルスの影響により、山中湖合宿、ライオンズカップは中止となりましたが、普段の活動については、5 月より大学内の御殿下グラウンドに戻ってスクールを開催できるようになりました。昨年度と比べ、会員数は次第に増加して、現在 (2022 年 11 月) 約 130 名に到達し、活況を取り戻しつつあります。御殿下サッカースクールに自分が小さい頃通っていた方や、ア式 OB の方がお子さん・お孫さんを連れていらっしゃるなど、歴史を感じる交流も生まれました。部員一同、引き続き地域の老若男女に寄り添い、サッカーの楽しさをより多くの人に広められるように精進してまいります。今後ともご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

(担当 : 吉田)

(2) プロモーションユニット

今季は多くの企業との関わりを持つことができました。年間スポンサーとして昨年より継続してアクセンチュア株式会社、今年1月より武蔵コーポレーション株式会社、今年8月よりSky株式会社、株式会社テレシーの4社、年間サプライヤーとして昨年より継続してベースフード株式会社の1社の計5社にご支援いただきました。テレシーはOBの川瀬智博様（2013卒）が役員を務めておられる会社で、引き続き来シーズンもご支援いただけることが決定しております。



また8月の双青戦時には、上述の武蔵コーポレーションに加え、株式会社フィールドマネジメント、株式会社白潟総研の3社にご支援をいただきました。未だLB会の皆様の多大なご支援をいただいている中ではありますが、昨年よりも多くの企業にサポートいただけたことでGKコーチの招聘、林監督の続投などが可能になっております。ご支援いただく責任を認識し、少しでもア式蹴球部の成長、強化という形で皆様に還元できますようユニット一同精進いたします。

（3）テクニカルユニット

テクニカルユニットは、ピッチ外の分析を通じてチームをサポートしております。今年度は昨年に引き続き杉崎アドバイザーのご指導を賜りながら、対戦相手のスカウティング、リアルタイム分析などを通じてより一層チームの結果に貢献できるよう努めてまいりました。また日頃の活動にご注目いただく機会も増え、新たなプロクラブとの連携の開始、テレビを含むメディア取材も複数いただきました。これら私たちの活動は、LB会の皆様のご支援により導入しておりますBepro（映像分析サービス）やPLAYERTEK（GPSデバイス）といった設備にも支えられております。この場をお借りして深く感謝申し上げます。近年は複数の新入生が継続的に入部するようになり、設備・人員共に分析チームとしての確固たる土台が出来上がりつつあります。このリソースを十分に生かし、来季もより一層邁進いたす所存ですので、今後ともご支援の程何卒よろしくお願い申し上げます。（担当：松尾）

試合中のリアルタイム分析↓



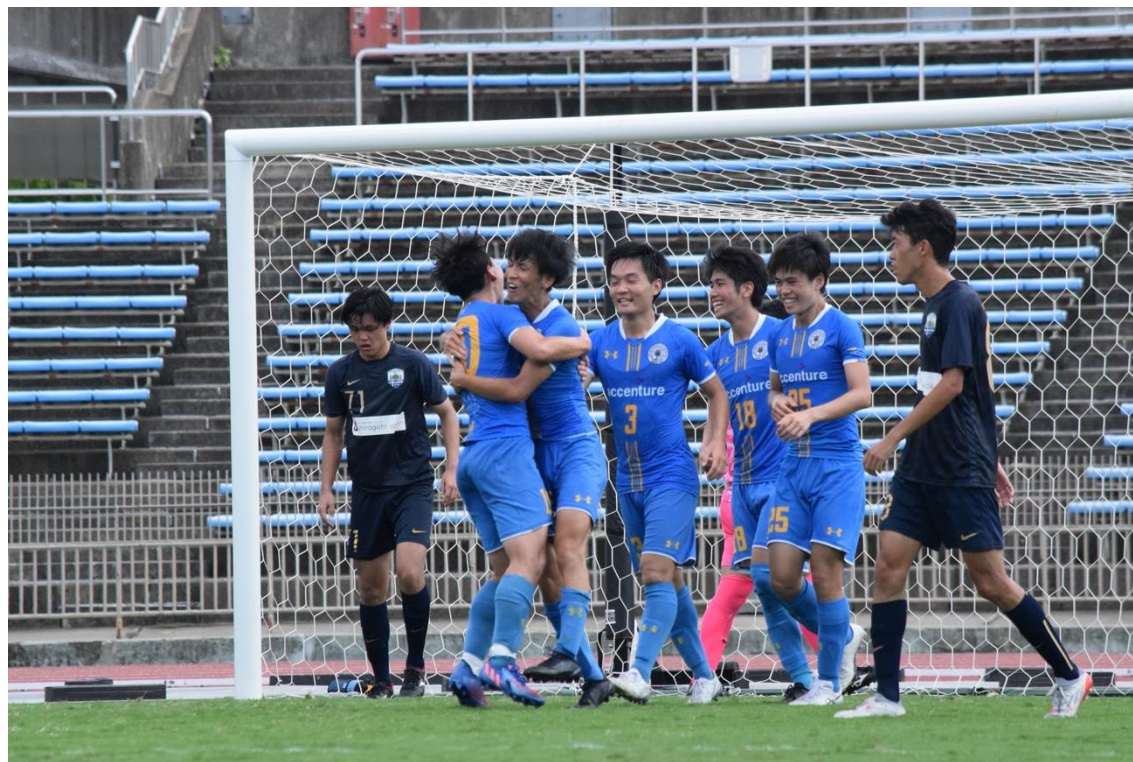
【テクニカルアドバイザー杉崎氏コメント】

LB会および保護者の方々含め関係者の皆様、日頃よりご支援賜りましてありがとうございます。テクニカルアドバイザーの杉崎でございます。2年目となる今年は、チームは2部を戦い1年での1部復帰を目指す中で、より結果に直結できるような取り組みを進めてきました。昨年、来季のテクニカルチームにご期待いただければとのメッセージを残させていただきましたが、相手分析やデータ分析を形式上にせず、より現場に寄り添いながらここにコミットできたのかなと見ておりました。こちらからも当然、アドバイスや実践を通して伝えていきましたが、彼らが主体的に動き、個人分析にも注力し始めたりと、良い派生も見られました。ただ、目指すべきはやはりテクニカルチームとして日本一。チームは1部定着から関東への昇格ですから、まだまだ向上、発展させなくてはなりません。私がかつて所属し、2019年にJ1リーグを制した横浜F・マリノスは、2022年に3年ぶりの優勝を果たしました。当部も、浮き沈みがあった

としても継続的に結果を出せるよう、大事なのは仕組み作りと運用と発展と捉えています。特にテクニカルやデータなどの分野は、世界を見ても進歩が速いです。ソフト面もハード面もアップデートが求められますので、引き続き、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

6. 2022 年双青戦（京大戦）振り返り

男子部 水本龍志（3 年）



今年度は 3 年ぶりに双青戦を開催することができました。2 年前に発足した東大京大両部合同の運営チームを中心として企画を行い、会場は京都のたけびしスタジアム京都（旧西京極）を利用、小学生大会や京大サークルの大会の運営、キッチンカーの招致や電光掲示板を利用した演出などを行い、679 人の観客を収容しました。双青戦は当部にとって、<

過去・現在・未来> が集う祭典として意義深い大会になりうると考えています。<現在>としてピッチ内外で精力的に活動する現役部員が他部活の学生や地域の方々との関わりを強め、<過去>すなわち部の歴史・伝統を紡いでくださった OB の方々と交流し、さらには<将来>である小学生や中高生らを招待し部の繁栄に向け種をまく。そのためにも、普段のリーグ戦ではできないような大規模な祭典として双青戦を盛り上げていきたいと思っています。



今後も部内からのアイデアや OB の方々の意見などを汲み上げながら、魅力的な大会の持続可能な運営を実現できるよう尽力してまいりますので、ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

7. 男子部 2023 シーズン運営体制とスケジュール

【運営体制】 総監督 利重孝夫 監督 林陵平 主将 八代快（新４年・法） 副将 竹内拓夢（新４年・経） 副将 上原真路（新３年・文化三類） 主務 古川泰士（新４年・農） テクニカルアドバイザー 杉崎健氏 G K コーチ 三浦和真氏	【シーズンスケジュール】 1 月 始動合宿（場所未定） 3 月 卒部式 3 月下旬 アミノバイタルカップ都学連予選 4 月 入部式 4 月～7 月 東京都大学サッカーリーグ 1 部(前期) 8 月 双青戦 8 月～10 月 東京都大学サッカーリーグ 1 部(後期) 11 月 東京都大学サッカートーナメント 12 月 納会、東大サッカーフェスティバル
--	---

8. 女子部 2022 年度シーズン振り返り

女子部主将 福田美歩（３年）

日頃より女子部に多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

今年度、ア式蹴球部女子は 2 名の新入生を迎え、総部員 13 名で活動してまいりました。公式戦の CiE リーグ（関東大学女子サッカーリーグ）は、2020 年度に東大主導で立ち上げた、大学女子サッカーの普及を掲げたリーグです。対戦校の人数が少ない場合に両校人数を減らして試合をすることができるという特殊な規定があり、今シーズンもいくつかの試合は 8 人制でおこなわれました。また、他大学選手の登録が可能であり、東大も、怪我による離脱等で人数が揃わない際には、合同練習をしている文京 LB レディースの選手にご協力いただきました。

今季は前半 4 試合で、勝たなければいけないという位置づけの相手に着実に白星を重ねられたことは大きな自信となりました。藤岡監督、張コーチ、島田コーチのご指導のもと、試合中の各場面のプレーについてチームで意識を揃えてきたことが、少しずつかたちになってきたのではないかと思います。武田理事長、和田理事、利重理事、大里理事

をはじめ、試合にお越しくださった皆様、ご声援ありがとうございました。残り 2 戦がリーグ優勝を左右します（11 月中旬現在）。春のプレシーズンマッチではどちらも負けてしまった相手ですが、個で劣るところを連携でカバーし、粘って勝つことができるよう最後まで頑張ります。

シーズンを終えて 4 年生が卒部すると、新入生を迎えるまで部員は 10 人を下回ります。構成員が例年以上に大きく入れ替わり、人数も少ない状態で始動することは、女子部にとって一つの試練となるかもしれません。創部 10 周年を前にして、依然として部員の少なさが部活にとって大きな問題であることにはもどかしさも感じます。しかし、ピンチをチャンスに変え、チームとして一層成長できるよう、部員一同サポートし合いながら練習、運営に励んでまいります。また、女子部を支えてくださっている全ての皆様に改めて感謝申し上げます。今後ともご支援よろしくお願いいたします。



9. 女子部 2022 年度シーズン戦績と活動

2022 年度関東大学女子サッカー CiE リーグ（シーリーグ）暫定順位表（2022 年 12 月 11 日時点）

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失点	得点
1	東京学芸大学	15	5	5	0	0	41	41
2	東京大学	15	6	5	0	1	16	19
3	文教大学	10	5	3	1	1	27	31
4	茨城大学	7	6	2	1	3	0	14
5	東京外国語大学	4	6	1	1	4	-19	5
6	国際基督教大学	3	5	0	3	2	-11	1
7	創価大学	0	5	0	0	5	-54	3

12/11 時点で、全6試合終了し、暫定2位。他チームの試合結果で2位が3位が決定します。



CiEリーグ 10月16日 vs. ICU 農学部グラウンドにて

文京 LB レディースとしての活動

女子部の部員は文京区的女子サッカーチーム「文京 LB レディース」にも所属しています。東京都リーグ2部と5部に所属する2チームに分かれて活動し、それぞれ12月に最終節を迎えます。また、文京区でのオフザピッチ活動も行なっています。今年は湯島のサッカー通りのお祭りに参加しました。コロナ禍においては文京区との関わりを持つ活動が少なくなっておりますが、今後も継続して行なっていきます。詳細はHPや各種SNSをご覧ください。



10. 女子部 2022 年オフザピッチ活動

(1) スポーツフェスタの開催

8/7(日)に農学部グラウンドにて、全国の女子中高生を対象としたスポーツイベントを開催し、18名の学生に参加していただきました。ア式女子の活動についての説明や、学生間の交流の時間を取り、その後グラウンドでミニゲームを行いました。(右写真)



(2) 目黒区民まつり

10/9(日)に、男子部と合同でサッカースクールを行い、女子部からは5名参加いたしました。普段は文京区での活動が中心ですが、目黒区での活動ということで貴重な機会となりました。

(左写真)

(3) 高校生大会(12/18(日)開催予定)

例年12月に開催していた高校生大会を今年も開催予定です。すでに多くの高校の参加が見込まれています。当日は部員と高校生の座談会やミニゲームなどを行う予定です。このような長期的な部員の確保やア式女子の認知の拡大のための活動を今後も継続的にしていきます。

11. 女子部 2023 シーズン体制とスケジュール

総監督：福田雅 監督：藤岡佑将 コーチ：張享碩 GKコーチ：島田啓太郎 アドバイザー：大里真理子 主将：森本帆南(新3年・教育) 主務：川端美穂(新3年・教育)

1月 始動・新体制ミーティング・国公立大会、3月 卒部式・新歓・つくばフェスティバル、4月 入部式、6月 関東大学女子サッカーCiEリーグプレシーズンマッチ東京都リーグ開幕(文京 LB レディース)、8月 関東大学女子サッカーCiEリーグ開幕、12月 納会

◆◆LB会の活動状況報告◆◆

1. 2022 年度 事業報告(中間報告)

今年度もコロナの影響で、事業計画や予算費消に不確定要素があるものの、今年 3 月 19 日の社員総会で承認された事業計画・予算に基づき事業を進めております。

- ① 現役サポートにおいては、コロナ禍対応支援、林監督、杉崎テクニカルアドバイザーの継続招聘、若手 LB(学生コーチ)の練習指導、スポンサー獲得活動の支援などを行なった。現役とLB会の合同納会を2022 年 12 月 17 日(土)実施予定(於: 学生会館)。
- ② 年代別サッカー活動では、若手が2チームに分かれて東京都社会人サッカーリーグに参加、シニアは、東京都シニアサッカー連盟の年代別リーグ戦(O-60,65,70,75)に参加した。さらには O-80 の試行リーグ が創設され、LB 会からも複数名が参加している。コロナ禍で多くが中止されてきたシニアの交流戦も、徐々にではあるが、再開されてきた(詳細は本紙 P. 10~11 の「2. 2022 年 LB 戦績」をご参照下さい)。

特筆すべき報告は、コロナ禍で学内施設での活動ができていなかった次の2つが、今年、再開できることである。但し、コロナ禍対策のため学外のシニアチームを招待することができず、LB 紅白戦となる。

(a)御殿下サッカースクールが5月より御殿下グラウンドに戻ってスクールを開催できるようになった(詳細は本紙 P.4 参照)

(b)LB シニアの大学内でのゲームが3年ぶりで再開できることになった。現在決まっているスケジュールは以下の通り。

・12月17日(土)LB シニア蹴り納め紅白戦(於: 農学部グラウンド)

・年明け1月8日(日) LB シニア蹴り初め紅白戦(於: 農学部グラウンド)

- ③ 情報発信では以下の取り組みを行った。

(a) LB 会報を 7 月と 12 月(本号)に発行した。

(b) 今年から、現役男子部がリーグ戦を YouTube で LIVE 配信を開始した。現役部員の実況解説付きで分かりやすく世界中のどこにいても観戦が可能となり、配信観戦した LB 会員からは好評であった。LIVE 観戦できなくても、YouTube で録画再生可能。また、LB 各世代の代議員に、メールにて LIVE 配信アカウントを送信し、LB の視聴促進を行った。来季はホームページ等も活用して視聴促進の取り組みを行うので、応援観戦をお願いしたい。

(c) 今年は現役の活動が何度かメディアに取り上げられたが(*) LB 会では情報提供協力を行うと共に、LB 各世代の代議員を通じて、放送予定等の周知に取り組んだ。

(*) 11月6日(日)のフジテレビ系「ジャンク SPORTS」でア式蹴球部のテクニカルユニットの活動が取り上げられ約15分間放映されたり、日本経済新聞にも3回ほど掲載されるなど、テレビ、新聞、雑誌などの各メディアに複数回取り上げられた。

- ④ 御殿下及び農学部グラウンドのインフラ整備

(a) 御殿下 G の整備事業については、昨年御殿下記念館のリフォームと照明の LED 化が完了したが、今年 3 月末に人工芝張替えが完工し、整備事業 3 点セットが完了(いずれも大学単独プロジェクトとして)。

(b) 農学部 G 整備については、現在ア式(現役)が窓口となって、鋭意大学との交渉を進めている。優先順位は、照明の LED 化(現在はプレーに支障がでるレベル)、人工芝の張替えの順。人工芝も怪我の誘発が懸念されるレベルである。

- ⑤ 会員名簿の維持管理、会費納入促進

ホームページなどを利用した会員名簿の維持管理、会費納入促進に関する方策を検討中ではあるが、会費納入促進に関しては、11月22日現在で、納入会員数 334 人(一昨年比+31 人)、納入会費 4,647 千円(一昨年比+509 千円)と実績が上がっている。

- ⑦ その他

一橋大学と名古屋大学サッカー部 OB 会から、OB 会活動の活性化について、東大 LB 会の活動を参考にしたいので、参考情報を提供願いたいとの協力要請があり、可能な範囲での情報提供を行った。両大学とも、現役支援の強化や OB 会組織の再編などを進めたい意向である。

2. 2022 年 LB 戦績

1. 若手 LB の活動

(1) 東大 LB (東京都社会人リーグ 2 部所属) 2022 戦績 : 3 勝 2 分け 9 敗 12 位/15 チーム

2 年連続で新型コロナの特例措置により降格を免れてきた 2 部チーム。今年こそは真の実力で残留することを目標としていたが、メンバー集めに苦慮する等、開幕から 8 戦未勝利の最下位で夏の中断期間を迎える。しかし幸いにも、中断期間中には東大グラウンドでの練習が再開でき、チームの連携・戦術を強化することができた。その成果もあり、再開後は優勝チーム「エコ・プラン」に引き分ける、オールラウンダーチーム「ALL ROUND FC」に後半終了間際のゴールで勝ち切る等、ラスト 6 戦で勝ち点 10 を荒稼ぎすることに成功、無事目標としていた「実力での残留」を達成した。



(2) 東大 LB Second (東京都社会人リーグ 4 部所属) 2022 戦績 : 5 勝 3 分 1 敗 2 位/10 チーム

悲願の 3 部昇格を目指す 4 部チーム。開幕から 7 戦負けなしと好調のなか、首位「福生エアー」との昇格をかけた大一番を迎える。ガーナ人 FW を擁する相手チームの猛攻を耐え忍び迎えた前半終了間際のセットプレーでこぼれ球をゴールにねじ込む。しかしなんと審判の判定はノーゴール。気持ちを切り替えずに後半の立ち上がりには連携ミスから失点してしまい、さらに終了間際にはカウンターを 2 発決められ万事休す。審判の判定が違っていれば昇格をつかみとることができたかもしれないという悔しい気持ちでシーズン終了となってしまった。



(H27 年卒 松田裕生)

2. O-60、-65 の活動

O-60 は、東京都シニアサッカーリーグ(O-60)の 3 部 B ブロック 9 チームでリーグ戦を戦い、6 勝 1 分 1 敗 (得点 11、失点 4)、勝ち点 19 の 2 位で、2 部昇格を決めた。来季は、今年活躍した選手 2 名が転勤・転職でいなくなる一方、新戦力も期待できるので、上位リーグで難しい試合が続くと思うが、目指してきた繋ぐサッカーで、まずは 2 部定着を目指したい。

O-65 は、東京都シニアサッカーリーグ(O-65)の 2 部 B ブロック 9 チームでリーグ戦を戦い、3 勝 4 分 1 敗 (得点 7、失点 5)、勝ち点 13 の 3 位で、来季も 2 部での戦いとなる。O-65 は、毎試合ぎりぎりの人数で戦っていますが、年間の試合スケジュールが

期初に決まるので（不定期ながら必ず水曜日）予定が立てやすいと思われ、より多くの皆さんの参加を期待しております。
（S53 卒 井田淳）

3. O-70(LBクラブ)の活動

2022 年度の O-70 リーグは既報の通り、所属 15 チームを A、B 二つのブロックに分けてリーグ戦を行い、11 月 4 日に両ブロックリーグが終了しました。LB クラブは A ブロックで戦った結果、5 勝 2 敗で 8 チーム中 3 位でした。全体 15 チームの順位を決める順位決定戦は年明け後に行われ、LB クラブは全体 5 位を目指しています。なお、2023 年度の O-70 リーグは、新たに 3 チームが加わり、18 チームで行われる予定です。（S47 卒 宮路康利）



右の写真は 10 月 31 日、練習試合にて

4. O-75 (LB クラブ 75) の活動

東京都シニアサッカーリーグの 75 歳以上のカテゴリーは、11 月現在で 2 勝 4 分 1 敗(得点 6、失点 5)勝ち点 10 で、8 チーム中 4 位となっております。年明けに 5 試合行われる予定であり、更なる上位を目指します。（S40 卒 樋口周嘉）

5. シニア交流戦の活動（LB 会報前号（No.25）掲載分以降分）

8 月 6 日（土）京大戦（双青戦）OB 戦前哨戦（於：西京極陸上競技場 補助競技場）

8 月 7 日（日）京大戦（双青戦）OB 戦（於：西京極陸上競技場 本スタジアム）

8 月 31 日（水）CERO & INFINITO 連合軍との練習試合（於：小石川運動場）

9 月 11 日（日）防大 OB・北大 OB との定期

戦（於：防衛大学校グラウンド）↑上写真

9 月 17・18 日（土・日）第 29 回スーパーエイジサッカー大会 in 刈谷（於：刈谷市総合運動公園グリーングラウンド）

11 月 12 日（土）第一生命シニアとの練習試合（於：第一生命相模園グラウンド）

11 月 19 日（土）藤枝 FC との交流戦（金丸杯）（於：藤枝市民グラウンド）（S58 年卒 中谷知弘）



3. 特集 サイボーグサッカーについて

S51卒 田中 靖

1. サイボーグサッカーチーム及び、サイボーグリーグ設立企画について

私は、2014年頃に変形性股関節症を発症しました。その後暫く鎮痛剤を服用しながらサッカーを続けていましたが、2016年後半に手術以外選択肢がない状況となりました。その時出会った執刀医は、人工股関節手術のベテランで、一般の医師とは異なり、術後の運動として何の制限も付けない方でした。リハビリ医もその世界では有名な方で、2人の専門家とサッカー復帰を目的としたプログラムでフルサポートしてくれました。さらに幸運だったのは、L B会監事の仕事で一緒だった石坂さん（S60年卒）が、人工股関節手術後にサッカー復帰を果たすという「サイボーグ」のパイオニア的存在だったことです。彼のアドバイスが自分にとって大きな支えとなりました。上記の方々のおかげで、手術後2年目にサッカーを再開できるようになりました。サイボーグサッカーのチームを作ろうと考えたのは正にその時でした。最初は半分冗談でしたが、サッカー復帰の可能性が実感されたことで、お世話になった方々への「ご恩返し」をすべきと考えました。その後、L B 諸兄、三大学関係者（早稲田、慶応）、A C千葉（千葉県シニアサッカー）等に対しご協力をお願いしたところ、何とか15人程度のメンバーが集まる可能性が出てきたことから、2022年、人工股関節者を中心としたサッカーチームの創設を決めました。サイボーグリーグについては、サイボーグサッカーの更なる展開を目指し、現在計画中です。

2. 計画の現状

創設メンバーが確定し次第、2023年初め頃を目途にF Cサイボーグズ090（以下「FCC」）を発足させる予定です。さらに、同チームを含むいくつかのチームの参加により、サイボーグリーグ第1回大会を2023年3月に実施したいと考えています。

以下に、FCC及び、サイボーグリーグの概念、活動案について記します。

（1）FCC活動案

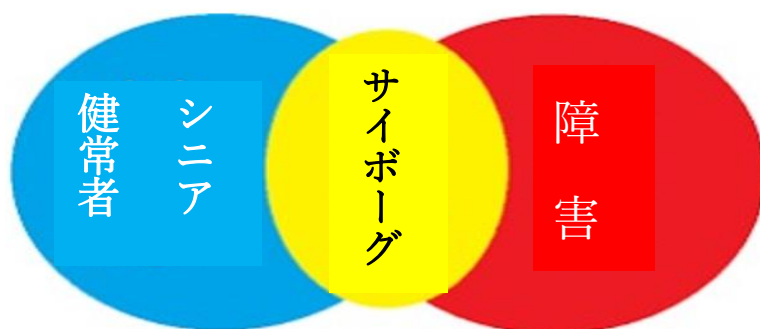
①目的：サイボーグとは健常者、障害者の一部を含むが基本的にそのどちらにも属さないグループを指す。クラブは、サッカー関連の障害等で体内外に人工物を持つ人及びその予備軍と、本活動の主旨に賛同する人が、定期的にサッカーをすることを通じ、「90歳迄現役サッカーパーソン」を目指すことを目的とする。

②活動：クラブ内で紅白試合が可能となるような

人数の確保を目指す。通常は紅白試合を

行うが下記の通り、複数チームによる

サイボーグリーグの開催も企画していく。



（2）サイボーグリーグ開催案

① 運営方式

- ・主催：（一社）A & Sリーグ（千葉市を中心としたスポーツ振興団体）
- ・参加チーム：東大LB、AC千葉関係者その他で3～4チーム
- ・スケジュール案：2023年1～3月に第1回サイボーグリーグ開催（場所未定）
- ＊今後、1日で実施する4チームリーグ戦を年に2回開催（3月、9月）を予定

② 試合形式

- ・ウオーキングサッカーまたはハーフピッチミニサッカー（例：6～7人制、10～15分ハーフ）

まだ、未定の部分が多々ありますが、上記実現に向け頑張っていきますので、皆さまのご協力をよろしくお願いします。

連絡先 田中靖 メール：msxkk311@yahoo.co.jp、電話：090-6485-1026

以上

4. 2022 年度 LB 会費納入実績 (会費納入者一覧表は本紙 P. 14～15 をご参照ください)

2022 年の会費納入実績は、11 月 22 日現在、334 人、4,647 千円です。これまでに納入いただきました方々につきましては、誠に有難うございました。過去の未払い分をまとめてお支払いいただいた方もいらっしゃいました。なお、最近会費納入方法に関するご照会も増えておりますので、納入方法につきまして再度ご案内申し上げます。

LB 会費の納入方法

1. 口座振替

原則口座振替をお願いしております。口座振替登録いただきますと、毎年 6 月末に引落がかかります。手続きに必要な書類は、口座振替依頼書（口座登録印押印のもの）と、振替金額指示書です。会費担当の井田まで連絡いただければ、書類一式を送付致します（連絡先は以下の通り）。

2. 銀行送金をご希望の方

銀行送金を希望される方は、下記のいずれかの LB 口座に送金下さい（いずれも口座名義は、一般社団法人 東大 LB 会）。

送金時期の決まりはありませんが、年 1 回の送金ですので、お忘れなきようお願いいたします。

- ・三菱 UFJ 銀行 日本橋支店（020）普通預金 5125311
- ・みずほ銀行 日本橋支店（038）普通預金 2213920
- ・ゆうちょ銀行 口座記号 00220-7、口座番号 80441

3. 年会費

4 口、12,000 円でお願いしていた時期もございますが、現在は、5 口 15,000 円でお願いします。

（院生など社会人になっていない卒業生は 1 口、3,000 円です）

会費担当：井田 淳（いだ じゅん、S53 卒）

住所：〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘 5-23-15

携帯電話：080-1149-4532

メール：PC の場合：motoko1713@mtd.biglobe.ne.jp

携帯の場合：junida.may@docomo.ne.jp

会費納入キャンペーン

代議員の皆様のご協力をいただき、LB 会費納入キャンペーンを行っています。ア式現役の強化のため、皆様のご協力をよくお願いします。未納入の方、便利な口座振替に変更されたい方、会費金額を変更されたい方は、会費担当の井田までご連絡下さい（上記連絡先）。年会費は、院生など収入のない方（3,000 円）を除き、15,000 円をお願いしております。

7. 訃報連絡

2022 年 7 月の LB 会報以降、次の会員の方々が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

- ・S28 卒 坪田亜規良（あきら） 逝去日：2022.8.30
- ・S27 卒 菊井維正（つなまさ） 逝去日：2022.10.6

追記：坪田様のご逝去につきましては、坪田様のご長女様より LB 会報担当へ直接お電話をいただきました。ご長女様曰く、本人は目を悪くしていたので、ご本人に代わって毎回 LB 会報を読み聞かせておりました。その際、東大サッカーの思い出話を何度も聞かされました。特に、第一回朝日新聞主催の全国大学サッカー大会では、CF 岡野俊一郎、CB 坪田で優勝したことなど懐かしそうに語っていただいたとのこと。なお、坪田様からは、今年になって 36 千円の会費もいただいております（長年支払っていないことに気づき、ご本人の指示でご長女様が振り込んだと）。

LB会費納入者一覧表(H30～R4)

卒年	氏名	H30	H31	R2	R3	R4	
S14	田村 三郎(逝去)						
S18	渡辺 隆二						
S23	高崎 達也	24					郵便
S25	丸山 智信						
S27	秋山 榮	12	12		30		三菱
S27	菊井 維正(逝去)	12	12	12	12	12	三菱
S27	三輪 嘉展	24	12	20			みずほ
S27	吉富 裕	12	12	12			みずほ
S28	柴沼 明(逝去)	12	24				三菱
S28	坪田亜規良(逝去)	24				36	三菱
S28	中原 壯六	12		12			郵便
S29	金井 弘夫	12	48				郵便
S29	川辺 正行	12	12				口座
S30	折原 一雄	12		12		15	郵便
S30	鈴木 美暢	12					郵便
S30	深見 浩一			100			三菱
S31	浅見 俊雄	21	21	21	21	21	口座
S31	岡野俊一郎(逝去)						
S31	片山 義朗	12	12	12	12	12	口座
S31	山本 修(逝去)	12					口座
S32	片原 清		12	24	15	12	みずほ
S32	倉田 日出男						
S32	嶋田 武夫	12	12	12	12	12	口座
S32	津田 義久	12	12	12	12	12	口座
S32	原 靖二朗	12	12	12	12	12	口座
S33	井田 信雄(逝去)						
S33	西野 宏	18	18	18		36	三菱
S33	浜口 幸久	12	12		24	15	三菱
S34	畔柳 敏雄	15	15	15	15	15	口座
S34	佐藤 芳夫	24					郵便
S34	長崎 充博						
S35	伊野部元彦(逝去)						
S35	小山 富士夫	30	30	30	30	30	口座
S35	長濱 毅	20				60	みずほ
S35	福田 泰二	12	12	12	12	12	口座
S36	足立 格一郎	12					三菱
S36	野澤 量一郎	12	12	12	12	12	口座
S36	松村 保		36				郵便
S36	本林 敬		48			15	みずほ
S37	名越 英夫	12	12	12	12		三菱
S37	梅村 洋	12	12	12	15	15	みずほ
S38	高橋 一修	12	12	12	12		みずほ
S38	中村 紀雄	12	12	12	12	15	口座
S38	門馬 達	9	9	9	9	9	口座
S39	安達 二郎	15	15	15	15	15	口座
S39	宇尾 誠一	15	15	15	15	15	口座
S39	小川 肇	12	12	12	12	12	口座
S39	熊沢 英男	15	15	15	15	15	口座
S39	後藤 雅治	15	15	15	15	15	口座
S39	中島 宏介	12	12	12	12	12	口座
S39	長田 経男(逝去)	12	12				三菱
S39	八田 洋	12	12	12	12	12	口座
S39	森 敏一	12	12	12	12	12	口座
S39	山浦 敏一	24	12	24		30	三菱
S39	山田 隆哉(逝去)	10					郵便
S39	吉田 慶次						
S40	新井 伎一(逝去)	36					郵便
S40	石田 金次郎	15	15	15	15	15	口座
S40	石光 豊	12	12	12	12	12	口座
S40	太田 直幹	12	12	12	12	12	口座
S40	加藤 義孝	12	12	12	12	27	口座
S40	川瀬 隆弘	12	12	12		27	みずほ
S40	畔柳 信雄	12	12	12	12	112	口座
S40	小林 邦彦	12	12	12	12	12	口座
S40	樋口 周嘉	30	30	30	30	30	口座
S40	深澤 重幸		36				三菱
S40	関宮 誠一郎	12	12	12	12	12	口座
S41	河島 洋征	18	18	18			口座
S41	香山 晋	15	15	15	15	15	口座
S41	武田 勝年	15	15	15	15	15	口座
S41	中岡 智信	3	3	3	3	3	口座
S41	野村 晋作	15	15	15	15	15	口座
S41	廣瀬 英雄(逝去)	24					郵便
S41	藤井 俊治	15	15	15	15	15	口座

831 747 567 838

卒年	氏名	H30	H31	R2	R3	R4	
S41	水澤 雅武	15	15	15	15		基金
S41	渡辺 翼						
S41	平田 攻		30		15	15	口座
S42	草野 干夫	12		24			三菱
S42	熊谷 貞俊						
S42	小柳 理	12	12	12	12	12	みずほ
S42	坂井 忠昭	15	15	15	15	15	口座
S42	鳥原 光憲	15	15	15	15	15	口座
S42	見米 敏一		12				郵便
S42	吉田 茂男	12	12	12	12	12	口座
S43	小西 敏夫	12	12	12	12	12	みずほ
S43	諏訪 勝久	12	12	12	12	12	口座
S43	中井 省	12	12	12	12	12	口座
S43	小川 恭二	12	12	12	12	12	口座
S43	小林 将志	15	15	15	15	15	口座
S43	中尾 捷	12	12	12	12	12	口座
S44	石田 祐幸	12	12	12	12	12	口座
S44	大町 達夫	12					郵便
S44	加納 研之助	12	12	12	12	12	口座
S44	北川 薫	12	12	12	12	12	口座
S44	杉山 健一	12	12	12	12	12	口座
S44	小林 喜一	12	12	12	12		郵便
S44	友定 正治	12	12			15	みずほ
S44	永峰 富一	12	12	12	12	12	口座
S44	鍋島 寛	12	12	12	12	12	口座
S44	馬郡 貴司	12	12	12	12	12	口座
S44	松岡 誠也	12	12	12	12	12	口座
S44	藏内 俊和	15	15	15	15	15	口座
S45	小曾 恭彦	12	12	12	12	12	口座
S45	小柳 望	12	12	12	12	12	口座
S45	佐藤 吉見	15	15	15	15	15	口座
S45	武田 厚	21	21	21	21	21	口座
S45	田代 康之	15	15	15	15	15	口座
S45	新倉 正和	12	12	12	12	12	三菱
S45	掛井 成夫	12	12	12	12	12	口座
S45	吉崎 英雄	15	15	15	15	15	口座
S45	渡辺 宏	12	12	12	12	12	口座
S46	小原 正	12	12	12	12	12	口座
S46	鹿島 文行	12	12	12	12	12	口座
S46	古村 一郎	12	12	12	15	15	三菱
S46	櫻井 英人	12	12	12	12	12	口座
S46	清水 俊行	15	15	15	15	15	口座
S47	赤松 秀樹	12	12	12	12	12	口座
S47	大日向 明	12	12	12	12	12	口座
S47	金武 實	12	12	12	15	15	みずほ
S47	黒沢 秀樹	12					
S47	儀 新	24	12		15		基金
S47	手島 直幸	15	15	15	15	15	口座
S47	戸井 正明	12	12	12		15	みずほ
S47	宮路 康利	18	18	18	18	18	口座
S48	上妻 達也					15	口座
S49	井上 正嗣	12	12		24	15	郵便
S49	内田 純司	15	15	15	15	15	口座
S49	岡田 激行	12	12	12	12	12	口座
S49	笠原 昌行	15	15	15	15	15	口座
S49	佐々木 順孝	12	12	12	12	15	口座
S49	田名 真一	12	12	12	12	12	口座
S49	西澤 良徳	12	12	12	12	12	口座
S49	三田 四郎				15		郵便
S50	天野 裕	12	12	12	12	12	口座
S50	遠藤 隆	12	12	12	12	12	口座
S50	藤井 祥夫		24				郵便
S50	大高 松男	12	12	12	12	12	口座
S50	尾崎 哲男	21	21	21	21	21	口座
S50	柴田 敏之		24	15	15	15	三菱
S50	兵頭 圭介	30	30	30	30	30	口座
S50	山中 馨	12	12	12	12	12	口座
S50	山辺 福二郎	12	12	12	12	12	口座
S50	吉澤 伸明	30	30	30	30	18	口座
S50	松下 兼幸	12	12	12	12	12	口座
S50	上原 施門					3	みずほ
S51	池森 俊文	18	18	18	18	18	口座
S51	植村 祐幸	12	12	12	12	12	口座
S51	小野田 莊平	12	12	12	12	12	口座
S51	影本 浩	12	12	12	12	12	口座
S51	田中 靖	12	12	12	12	12	口座

960 873 912 885

卒年	氏名	H30	H31	R2	R3	R4	
S51	谷本 篤信	12	12	12	12	12	口座
S51	堀井 茂	18	18	18	18	18	口座
S51	御園 慎一郎	12	12	12	12	12	口座
S51	南谷 尚志	12	12	12	12	12	口座
S51	宮武 明	12	12	12	12	12	口座
S52	池田 吉彦	15	15	15	15	15	口座
S52	岩田 武史	15	15	15		15	みずほ
S52	加藤 重和	15	15	15	15	15	郵便
S52	藤原 真一	15	15	15	15	15	口座
S52	三島 茂	12	12	12	12	12	口座
S52	森井 太一（逝去）						
S53	青山 研一郎	12	12	12	15	15	郵便
S53	阿部 吉弘	12	12	12		12	口座
S53	井田 淳	12	15	15	15	15	口座
S53	加川 爽	12	15	15	15	15	口座
S53	清道 隆	12	12	12	12	12	口座
S53	本庄 孝志	12	12	12	12	15	口座
S53	牧野 尚雄（逝去）			72			
S53	山崎 隆志	12	12	12	12	12	口座
S53	小安 重夫					15	口座
S54	上村 司	24	12		27	15	三菱
S54	岸戸 健		48				三菱
S54	広瀬 一郎（逝去）						
S54	宮 恭久	12	12	12	12	12	口座
S54	吉江 建一	12	12	12	12	12	口座
S54	吉野 元章	15	15	15	15	15	口座
S54	生出 博巳					15	口座
S54	関 佳文					15	みずほ
S55	青山 市三	12	12	12	12	12	口座
S55	飯島 正	12	12	12	12	12	口座
S55	井田 陽彦	12	12	12	12	12	口座
S55	大塚 伸宏	12	12	12	12	12	口座
S55	柿木 真澄	12	12	12	12	12	口座
S55	菊地 保冒	12	12	12	12	12	口座
S55	佐藤 敦郎	12	12	12	12	15	口座
S55	湊 和則	12	12	12	12	12	口座
S55	宮崎 洋	12	12	12	12	12	口座
S55	緒方 裕光					15	口座
S56	安藤 豊	12	12	12	12	12	口座
S56	牛窪 健一	12	12	12	12	12	口座
S56	田中 聡	12	12	12	12	12	口座
S56	福田 信夫	12	12	12	12	12	口座
S56	松元 明弘	12		12	12	15	みずほ
S57	赤星 克彦	12	12	12	12	15	口座
S57	飯島 敏	12			60	15	口座
S57	坂田 正	12	12	12	12	15	口座
S57	志水 利彰	12	12	12	12	15	口座
S57	川村 公一	12	12	12	12	15	口座
S57	福沢 伸哉	12	12	12	12	15	口座
S57	大場 昭雄					15	口座
S58	安 秀和（逝去）						
S58	植田 浩	12	12	12	12	12	口座
S58	熊倉 政宣	12	12	12	12	12	口座
S58	斎川 路之	12	12	12	12	12	口座
S58	中野 北斗		24				みずほ
S58	清水 靖裕		30	15	15	15	口座
S58	高木 智	12	12		30	15	三菱
S58	中谷 知弘		24	12	15		みずほ
S58	西田 裕	15	15	15	15	15	口座
S58	橋本 晴充	15	15	15	15	15	口座
S58	和田 康太郎	15	15	15	15	15	口座
S59	荒川 文男		12	12	12		三菱
S59	柴田 周	12	12	12	12	12	口座
S59	赤城 庸人	15	15	15	15	15	口座
S59	田中 琢二						
S59	萩原 豊	6	6	6	6	6	口座
S59	井上 次典			15	12	15	三菱
S60	伊藤 洋	12	12	12	12	12	口座
S60	小野 平	12					口座
S60	近藤 晋	12	12		12	12	三菱
S60	久井 大樹	12	12	12	12	12	口座
S60	石坂 哲将					15	口座
S60	衛藤 公洋				15	15	口座
S61	森 光金	12					郵便
S61	大里真理子					15	口座
S62	佐藤 哲治	15	15	15	15	15	口座
S62	鈴木 修二	12	12	12	12	12	口座
S62	馬場 洋一					15	口座
S63	今井 勝典（逝去）						
S63	金子 健紀	15	15	15	15	15	口座
S63	久保田 健	12	12	12	12	12	口座

◆◆写真集◆◆



10月2日、成城大戦後、1部昇格を喜ぶ選手たち



7月31日 一橋大戦 試合前のミーティング



ア式女子 10月30日 vs 東京外国語大学 御殿下グラウンドにて(4-0で勝利)



11月12日 第一生命グラウンド（仙川にて） O-60～70 混成チーム